



学校だより 令和7年3月号

文蔵小通信

さいたま市立文蔵小学校

〒336-0025 さいたま市南区文蔵5-16-29

TEL 863-0721 FAX 836-1583



【文蔵小ホームページ】

おかげさま

校長 渡邊 勝利

身を切るような寒さも少なくなり、徐々に春の気配を感じる季節となりました。正門脇の白梅は見頃を迎え、爽やかな香りが漂っています。桜の蕾は数週間先の開花を前に、じっとその時を待っているようです。春は確実に手の届くところまで来ています。



さて、2月10日(月)に「文蔵小学校防犯ボランティア会議」が開催されました。本校は、防犯ボランティア51名、交通指導員1名、更に、PTAの登下校の見守り活動と合わせて、多くの皆様に見守られ、児童の安全・安心が成り立っています。1年間本当にありがとうございました。

会議の中で安全に関する情報提供がありました。2つ紹介します。

1つ目は、小学生の交通事故についてです。注意してほしいことは、①横断歩道を渡る時は、車が完全に止まっていることを確認してから渡る。②飛び出しは絶対にやらない。③自転車は、運転に不安があったら乗らない。乗るときはヘルメットを必ず着用する。

2つ目は、子どもの「防犯力」を高めることです。そのためには、①一人にならない。②周りをよく見る。周りをよく聞く。③(相手とは)触れない、掴まれない距離をとる。④「できません」と断る。⑤逃げる。⑥「助けて」を伝える。

その他にも、地域の方々からご意見をたくさんいただきました。その中で多くあがったのは、防犯ボランティアの方々の高齢化と人数の減少です。ここ数年同じ状況が続いていますが、限られた人数で見守り体制に穴を開けないよう、何とか続けているのが現状です。極端に負担が一部の地域や人に偏しているとも言えます。共働きの世帯も増え、協力が難しいとは思いますが、できる範囲でも構わないので、ボランティアに参加していただけたら助かります。PTA アンケートによると、登下校の見守り活動は、多くの方が必要だと考えているようです。地域一体となり、手を携え、児童の安全・安心を見守っていきたいと思っています。

人から受けた親切や助けに対して、感謝の心を表す際に使う言葉に「おかげさま」があります。神仏からの加護の意味がある「御蔭(おかげ)」が語源とされ、「さま」を加えて丁寧な言葉になったと言われています。現在ではお世話になった人への感謝の言葉として使われるようになりました。人が生涯である程度関わりがある人は、3万人位ではないかというデータもあります。私自身、どれくらいでしょうか。家族、親族、友人、級友、歴代の学校の職員・児童・保護者・地域の方々…。程度の差はあれ、多くの方々にお世話になっています。そして、今の私が存在していると思っています。明確に覚えている人から、忘れてしまった人、そして気付かなかつたけれど支えてくれた人もいるはずです。おかげさまの「かげ」は暗い蔭のことであり、見えづらいものです。よく見えないけれど多くの人に支えられ、生かされているに違いありません。文蔵小学校に関わっている全ての人に、感謝の気持ちでいっぱいです。

令和6年度も最後の月となりました。課題は多いものの、「おかげさま」で、目指す学校像「笑顔と希望のあふれる学校」「安心・安全な学校」に向けて、一定の成果は上げられたと思っています。残り1か月、一日一日を大切に指導にあたり、児童が自信を持って進級・進学できるよう、教職員一同全力で支援してまいります。